

第2回豊明市障害者福祉計画等策定・推進委員会議事の要旨

平成27年 1月20日(火)

午後2時00分～3時30分

豊明市分庁舎 会議室1

1 委員長あいさつ

2 議 事

(1) 第4期豊明市障害福祉計画(素案)

事務局より資料1に基づき、第4期豊明市障害福祉計画の素案について事務局より説明。

(2) パブリックコメントと今後の日程について

議事を確認いただき委員意見による修正を加えた上で、2月2日(月)から3月2日(月)まで市のホームページや市役所の社会福祉課窓口にて意見募集を実施します。

ご意見がございましたら1月30日(金)までにご連絡ください。

第3回 豊明市障害福祉計画等策定・推進委員会は、平成27年3月17日(火)午後2時より開催。

主な質疑応答と意見

Q 第1章 計画の概要 (1) 豊明市としての考え方に④が追加されたことについて

A 第5次豊明市総合計画は現在策定中。平成28年度からスタートするが、41の「めざすまちの姿」は決定している。41の内、障害者福祉計画に関係する2つを考え方に盛り込みリンクして推進していく。

意見 地域で暮らすためにグループホーム、ショートステイの要望は多い。

計画は立派なものができる。地域生活支援拠点については、ある施設を活用し面的に整備していくことと、ショートステイなど今ないサービスについてすみやすい市になるよう実現可能な計画にしてほしい。

Q 簡単な仕事内容はオートメーション化が進んでいる。就労は厳しいのが現実である。障がい者に根気よく手取り足取り教えるのも大変である。

A 障がい者の特性を生かし、その人が持っている可能性を引き出すような支援が必要である。そのためにも色々な経験ができる体制も整え、就労の支援をしていきたい。

意見 サービス実績が増えることはよいことだが、サービス提供者をどのように支援していくか、確保していく方法を考えてほしい。

Q 計画では3年の間に事業所数の増加を見込んでいるが、具体的にどのような取り組みを考えているのか。

A 携わる支援者、就労関係については障がい者の法定雇用率の引き上げがあり、雇用施策は促進されていく傾向である。小さな取り組みではあるが自立支援協議会での部会で取り組んでいく。

市が直営で事業所の開設はできないため、市内に問わず事業所の参入に市として働きかけたい。

意見 計画の実現に向けて支援していきたいと思うが人手不足のため全面的に支援はできない。

出席委員 辰野 勝五、岩名 昭文、近藤 二、平野 雅紀、三浦 美智子、
早川 要、森井 曜子、中山 広一、松森 正起、兼子 忠男、
橋口 寿美子

敬称略

傍聴者 0名

事務局 社会福祉課長、社会福祉課長補佐、児童福祉課長補佐
障がい福祉担当係長、主査、基幹相談支援センター長